

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵癌術後 pStageIV 症例における治療法の検討
	研究目的	切除可能 (R) 膵癌、切除可能境界 (BR) 膵癌に対しては、外科的切除に術前術後補助療法を加えた集学的治療が標準となっている。しかし、実臨床の場では、術前 R・BR 膵癌として外科的切除を施行したものの pStageIV の診断となった症例も存在しており、pStageIV 症例の治療に関してはいまだ一定の見解が得られていない。今回我々は、膵癌切除後 pStageIV 症例の予後に関する検討を行う。
	研究対象者	2013 年 4 月から 2021 年 3 月に当院で術前 R・BR 膵癌として膵切除術を施行した症例で、pStageIV の診断となった症例を対象とした。
	研究期間	西暦 2022 年 6 月 20 日～西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	上岡祐人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 消化器外科 上岡祐人